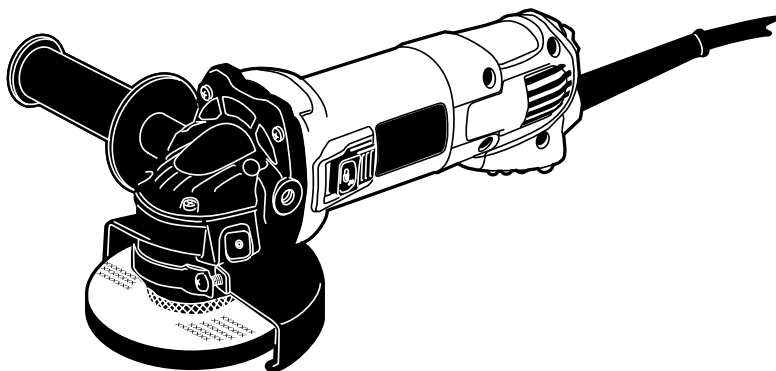


マックス ティースクワライナー

PK-G101

PK-G121

取扱説明書



⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 防音保護具（耳栓等）を着用する。
- 揮発性可燃物や引火のおそれのある物のそばで絶対に使用しない。
- 雨の中、水のかかる場所で使用しない。
- 濡れた手で絶対に触れない。
- 直流電源では使用しない。
- 使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを絶対に近づけない。
- 使用時以外は絶対に起動/停止スイッチに指をかけない。
- 刃物・ビット類の交換、スイッチ類の操作の際には必ずコンセントからプラグを外し、起動/停止スイッチに指をかけない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機を絶対に改造しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびは、マックス ディスクグラインダをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について



この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。



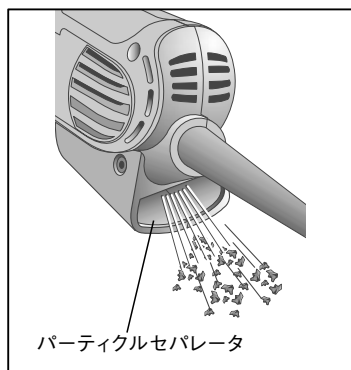
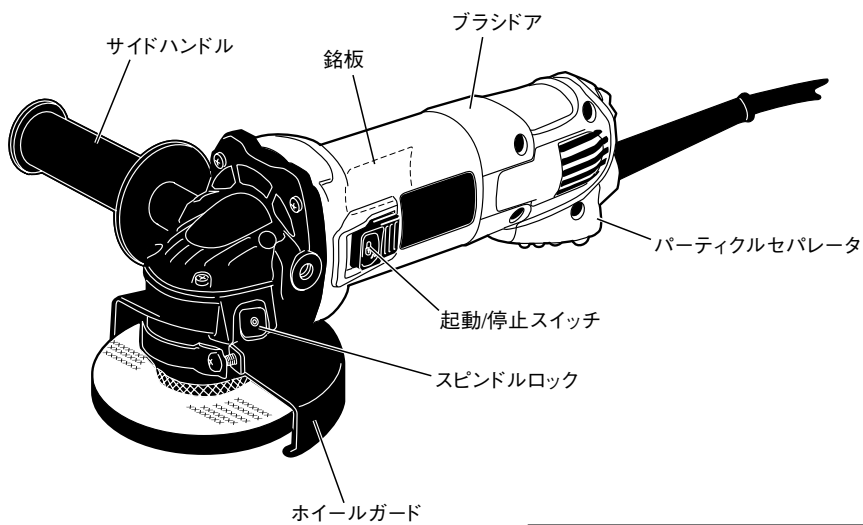
この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

目 次

1. 各部の名称	1
2. 注意 安全作業のために	2
3. 仕様及び付属品	9
4. 製品の特色と使用方法	10
5. 性能を維持するために	18
6. 保証、アフターサービスについて	20

全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称



※上のイラストは、PK-G101です。

サイドハンドルとホイールガードは、PK-G121とPK-G101で異なります。

2

▲ 安全作業のために

本機は、金属、コンクリート、大理石、瓦、タイル、レンガ、プラスチック、スレート、各種ボードの研削、研磨、切断を目的としたディスクグラインダです。指定以外の用途、使用法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全作業のために」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全作業のために」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

! 警告

安全作業のために：

1. **作業場は、いつもきれいに保つ。**
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. **作業場の周囲状況も考慮する。**
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. **感電に注意する。**
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. **子供を近づけない。**
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. **使用しない場合は、きちんと保管する。**
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。

2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

6. **無理をして使用しない。**
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. **作業に合った充電工具を使用する。**
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. **きちんとした服装で作業する。**
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. **保護メガネを使用する。**
 - ・作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. **防音保護具を着用する。**
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. **コードを乱暴に扱わない。**
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
12. **加工するものをしっかりと固定する。**
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
13. **無理な姿勢で作業をしない。**
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

▲ 警告

14. 電動工具は、注意深く手入れをする。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又はマックスサービスファクトリー(株)に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く。

- ・使用しない、又は修理する場合。
- ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。

16. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外す。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

17. 不意な始動は避ける。

- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

18. 屋外使用に合った延長コードを使用する。

- ・屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、又はキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

19. 油断しないで十分注意して作業を行う。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。

2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

20. 損傷した部品がないか点検する。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又はマックスサービスファクトリー(株)に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、又はマックスサービスファクトリー(株)に修理を依頼してください。
- ・スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

21. 正しい付属品やアタッチメントを使用する。


- ・この取扱説明書、及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

22. 電動工具の修理は、専門店で依頼する。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店、又はマックスサービスファクトリー(株)にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

▲ 警告 (特にディスクグラインダに関するもの)

1. 使用電源は、銘板に表示してある電源で使用する。
・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になり、けがの原因になります。
2. ホイールガードは、必ず取り付ける。
・砥石が破損したとき、けがの原因となります。
3. 使用するディスクは、最高使用周速度 (4,300m/min 72m/s) 以上の正規の砥石を取り付け、正しい使用面で研削する。側面や上面では、研削しない。
・正規以外の砥石を使用したり、また側面や上面で、使用すると、砥石が破損し、けがの原因になります。

4. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用する。
・異常があると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
5. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持する。とくに始動時は気をつける。サイドハンドルを取り付ける場合は、しっかりと取り付ける。
・確実に保持していないと、けがの原因になります。
6. 水、研削液などは使用しない。
・乾式用のため、砥石の破壊によるけがや感電の恐れがあります。
7. 上向き (定置形) にして使用しない。
・砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
8. 使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを近づけない。
・けがの原因になります。
9. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざける。また、研削火花を直接手足などに当てない。
・火災やけがの原因になります。
10. 砥石を用いて切断作業をする場合は、必ず正規の切断砥石と、専用の切断砥石用ホイールガイド、及びフランジを取り付けて使用する。
・砥石が破損し、けがの原因になります。
11. 回転させたまま、台や床などに放置しない。
・けがの原因になります。
12. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、又はマックスサービスファクトリー(株)に点検・修理を依頼する。
・そのまま使用していると、けがの原因になります。

2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告 (特にディスクグラインダに関するもの)

13. 誤って落としたり、ぶつけたときは、砥石や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
14. [事業所の方へ] 砥石の取り替え・試運転は法・規則で定める特別教育を受けた人に行なわせる。
関連法令 労働安全衛生規則 第36条
労働安全特別教育規定 第1条、第2条

▲ 注意 (特にディスクグラインダに関するもの)

1. 工具類 (砥石) や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。
 - ・確実にないと、はずれたりして、けがの原因になります。
2. 新しい砥石を取り付け、初めてスイッチを入れるときは、回転面から一時身体を避ける。
 - ・砥石が破損したとき、けがの原因になります。
3. 試運転を励行する。
 - ・試運転時間は砥石交換のとき……3分以上
その日の作業初めのとき………1分以上
 - ・試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認する。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしない。
 - ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 用途以外の刃物 (丸のこ刃、チップソーなど) での切断作業はしない。
 - ・丸のことしての保護装置がなく、けがの原因になります。
6. 工具類 (砥石) でコードを切断しないように注意する。
 - ・万一、コードを傷ついたり、誤って切断した場合は、直ちに起動/停止スイッチを停止側にセットし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2 ▲安全作業のために

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

 二重絶縁

本機は二重絶縁構造になっており、工具の外側の部品は電力の供給源と絶縁されており、アースしなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

延長コード

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）最大長関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm ²	15m
2.00mm ²	30m

◎騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。

ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。

状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

3 仕様及び付属品

商 品 名	マックス ディスクグラインダ	
商 品 記 号	PK-G101	PK-G121
電 源	AC100V 50/60Hz	
消 費 電 力	1,050W	1,200W
回 転 数	9,000min ⁻¹	10,000min ⁻¹
砥 石 寸 法	外径φ100mm×内径15mm×厚さ6mm	外径φ125mm×内径22mm×厚さ6mm
質 量	1.8kg	1.8kg
付 属 品	サイドハンドル、レンチ	

注意) 上記仕様は改良の為、主要機能および形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

本製品用の付属品は各販売店もしくはマックスサービスファクトリー(株)にて販売しております。また、付属品についてご不明な点は、お買い求めの販売店またはマックス(株)までお問い合わせください。

4 製品の特徴と使用方法

◆ホイールガードの取り付け方・取りはずし方

⚠ 警告

- 取り付け・取りはずしの際には、必ず起動/停止スイッチを切りプラグを電源から抜いて行なう。

プラグを電源につないだままで行なうと、事故の原因になります。また、ホイールガードなしでは、使用しないでください。外フランジは、必ず付属のレンチを使って十分に締め付けてください。

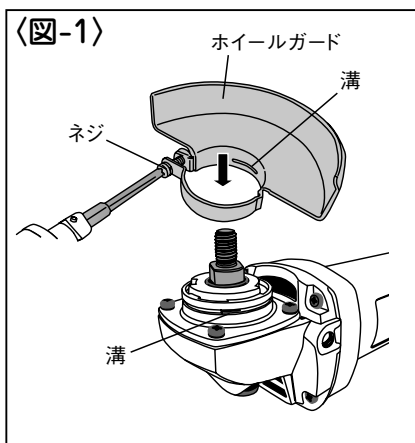
PK-G101

●取り付け方（ネジ式） 〈図-1〉

- ①ホイールガードの溝と本体の溝をあわせ、ホイールガードを本体に取り付けてください。
- ②1ヶ所のネジをしっかり止めてください。

●取りはずし方（ネジ式）

取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で取りはずしてください。

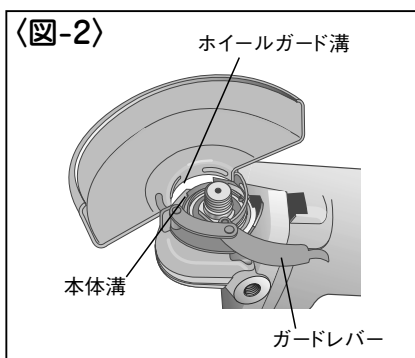


PK-G121

●取り付け方（レバー式）

- ①ホイールガードの溝と本体の溝をあわせ、ホイールガードを本体に取り付けてください。

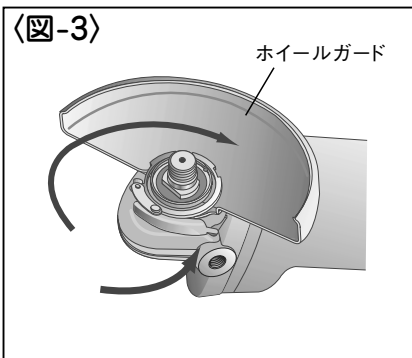
〈図-2〉



- ②ホイールガードを作業状況に合わせて、回転させてください。 〈図-3〉
- ③レバーをとじて、ホイールガードを固定してください。

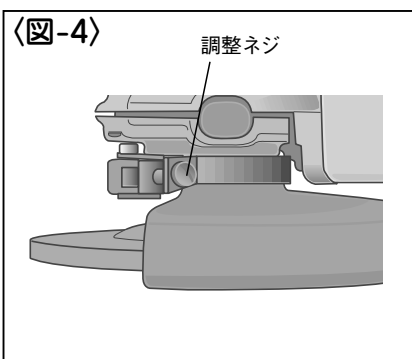
●取りはずし方（レバー式）

取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で取りはずしてください。



●ホイールガード締め付けの調整

ホイールガードの締め付けの調整は、レバーの根元部分にあるネジで調節ができます。緩くなってきたら適度に締め付け、調整を行ってください。 〈図-4〉



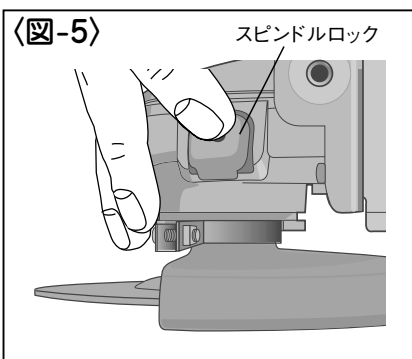
⚠ 注意

- レバーを開けたまま、作業を行わない。

◆スピンドルロックの操作

ディスクを取り付け、取りはずす際に使用します。

スピンドルロックを押し込み、スピンドル（主軸）の回り止めをしてください。 〈図-5〉



⚠ 注意

- スピンドル、砥石を回転させたままスピンドルロックを押さない。
故障の原因になります。

◆ディスク（研削砥石）の取り付け方・取りはずし方

⚠ 警告

- 取り付け・取りはずしの際には、必ず起動/停止スイッチを切り、プラグを電源から抜いて行なう。

プラグを電源につないだままで行なうと、事故の原因になります。

●ディスクの取り付け方

- ①スピンドル（主軸）を上に向け、内フランジの“THIS SIDE AWAY FROM WHEEL”と刻印された面を下（本体側）に向け、スピンドルにはめ込んでください。〈図-6〉〈図-7〉

⚠ 注意

- ディスク（研削砥石）、100mm切断用砥石、ダイヤモンドホイール等、各工具共、内フランジの向きは上記①と同じにしてください。

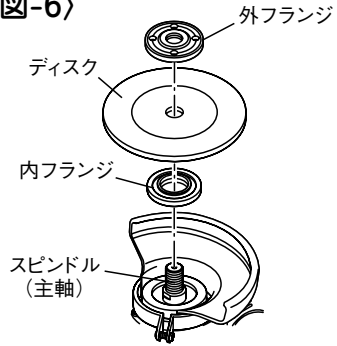
- ②内フランジの上に、ディスクの研削面が上になるように取り付け、ディスクの上に外フランジを、凸部の無い平らな面（“THIS SIDE AGAINST ϕ 20mm DISC”と刻印されていない面）を向けて取り付けてください。

- ③スピンドルロックを押さえつけながら、外フランジを付属のレンチでしっかりと締め付けてください。〈図-8〉

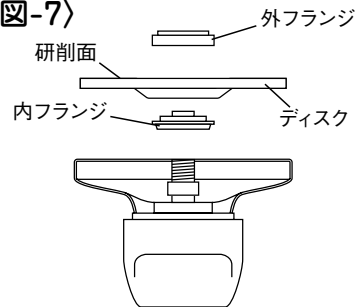
●ディスクの取りはずし方

取りはずす場合は、取り付け方の逆の手順で行ってください。

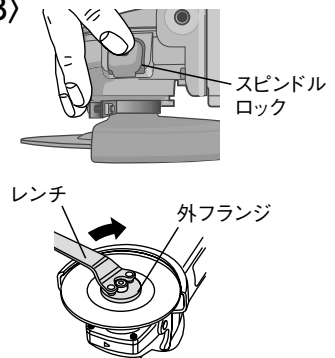
〈図-6〉



〈図-7〉



〈図-8〉



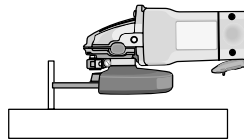
◆100mm切断用砥石の取り付け方・取りはずし方

⚠ 警告

- 100mm切断用砥石の取り付け、取りはずしの際には、必ず起動/停止スイッチを切り、プラグを電源から抜いて行なう。

プラグを電源につないだまま行なうと、事故の原因になります。また、必ず切断砥石用ガード（別売り）を用いて使用してください。

切断用砥石の、側面を使わないでください。切断用砥石は、側面からの力に弱く、破損や、けがの原因になります。切断を行なう際は、刃を切断するものに対し、90°に当て、切断を行なってください。



●100mm切断用砥石の取り付け方

- ①標準のホイールガードをはずし、切断砥石用ガード（別売）を取り付けます。 〈図-9〉

- ②スピンドル（主軸）を上に向け、内フランジの“THIS SIDE AWAY FROM WHEEL”と刻印された面を下（本体側）に向け、スピンドルにはめ込んでください。その上に切断砥石を取り付けます。 〈図-10〉

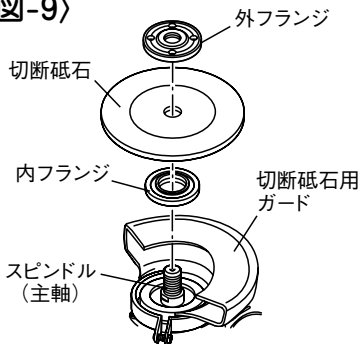
- ③切断砥石の上に外フランジを、凸部の無い平らな面（“THIS SIDE AGAINST φ 20mm DISC”と刻印されていない面）を向けて取り付けてください。 〈図-10〉

- ④スピンドルロックを押して、スピンドルを固定し、レンチで外フランジを十分に締め付けます。 P.11 〈図-5〉

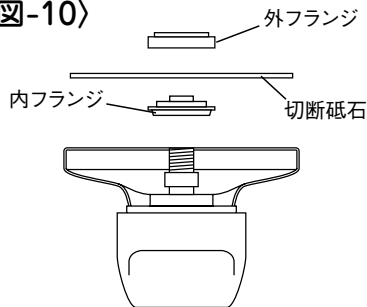
●100mm切断用砥石の取りはずし方

取りはずす場合は、取り付け方の逆の手順で行ってください。

〈図-9〉



〈図-10〉



◆ 100mmダイヤモンドホイールの取り付け方・取りはずし方

⚠ 警告

- 取り付け・取りはずしの際には、必ず起動/停止スイッチを切り、プラグを電源から抜いて行なう。

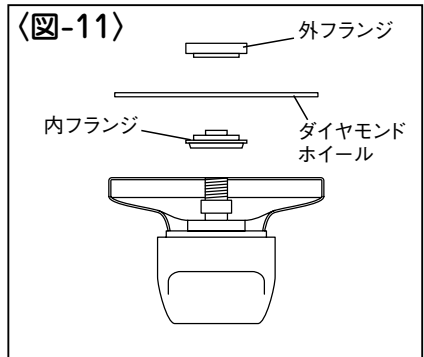
プラグを電源につないだままで行なうと、事故の原因になります。

使用前に、必ずダイヤモンドホイールにヒビ割れ、欠け、曲がりなどが無いことを確認してください。切削方向によっては反力があるので、機体を確実に保持してください。

1回の切り込み量は5mm以下にしてください。また、送り速さを加減しながら無理な力をかけないようにしてください。

● ダイヤモンドホイールの取り付け方

- ① スピンドル（主軸）を上に向け、内フランジの“THIS SIDE AWAY FROM WHEEL”と刻印された面を下（本体側）に向け、スピンドルにはめ込んでください。その上にダイヤモンドホイールを取り付けます。 〈図-11〉



- ② ダイヤモンドホイールの上に外フランジを、凸部の面（“THIS SIDE AGAINST ϕ 20mm DISC”と刻印されている面）を向けて取り付けてください。
- ③ スピンドルロックを押してスピンドル（P.11 〈図-5〉）を固定し、レンチで外フランジを十分に締め付けます。

● ダイヤモンドホイールの取りはずし方

取りはずす場合は、取り付け方の逆の手順で行ってください。

◆125mmダイヤモンドホイールの取り付け方・取りはずし方

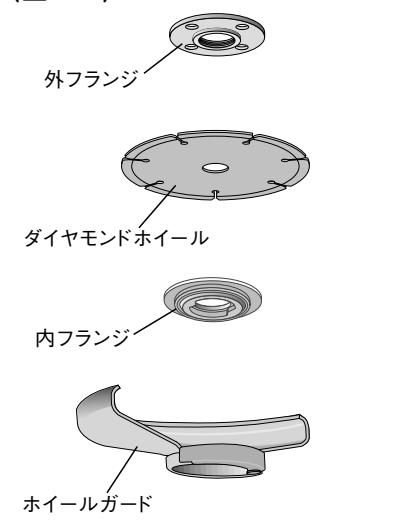
●ダイヤモンドホイールの取り付け方〈図-12〉

- ①ダイヤモンドホイールをスピンドルに取り付けます。このとき、ホイールの穴を内フランジの凸部を合わせてください。
- ②外フランジの凹部をダイヤモンドホイール側にして、スピンドルに取り付けます。
- ③スピンドルロックを押してスピンドル（P.11〈図-5〉）を固定し、レンチで外フランジを十分に締め付けます。

●ダイヤモンドホイールの取りはずし方

取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で取りはずしてください。

〈図-12〉

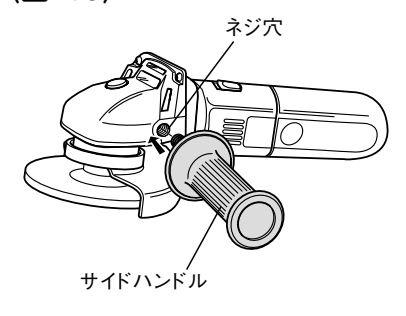


◆サイドハンドルの取り付け方

サイドハンドルを本体の横にあるネジ穴に取り付け、時計方向の方向に回し、しっかりと止めてください。

〈図-13〉

〈図-13〉

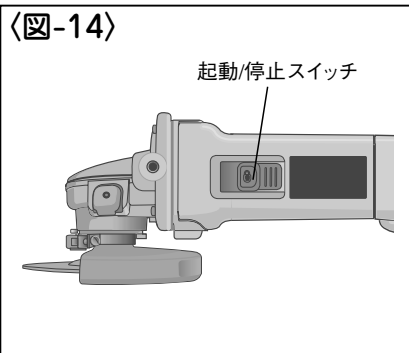


◆起動/停止スイッチの操作方法

⚠ 警告

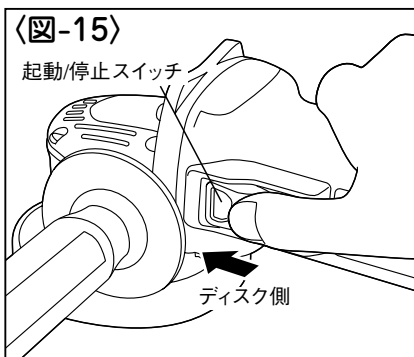
- 電源にプラグを差し込む前に起動/停止スイッチが切れていることを必ず確認する。
起動/停止スイッチをいれたままプラグを差し込むと、急に動き出し、事故の原因となります。起動と停止の際には、負荷をかけないでください。コンセントを抜く前に、必ず停止にしてください。

コンセントにプラグを差し込む前に、電源が停止になっているか確認してください。その後、起動/停止スイッチを起動にします。〈図-14〉



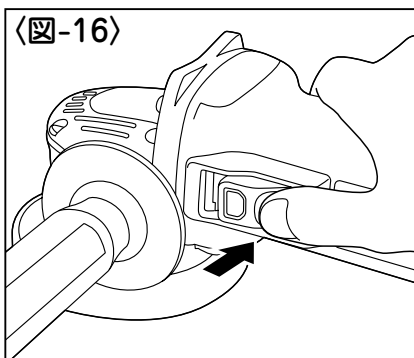
スイッチを切る時には、起動/停止スイッチを停止にしてください。機械が完全に止まったことを確認した後、コンセントからプラグを抜いてください。

①スイッチをディスク側に押します。〈図-15〉



②カチッと音がする所で、起動の状態でホールドされます。

③起動/停止スイッチの後端のへこんだ部分を押しすと、ホールドが解除されます。〈図-16〉



◆研削のヒント ディスク（研削砥石）

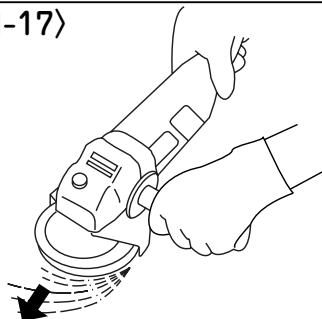
⚠ 警告

- 使用後は起動/停止スイッチを切って、ディスク（研削砥石）の回転が完全に止まってから機械を置く。

回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますので、注意してください。

- ・サイドハンドルを片手でしっかり握り、もう一方の手で本体を持ちます。

〈図-17〉

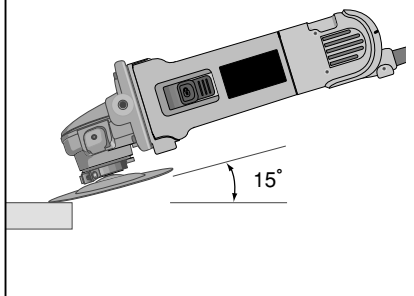


- ・ホイールカバーでカバーされていないディスクの部分が体から離れた場所にあるようにホイールカバー位置を設定してください。

〈図-17〉

- ・ディスクが金属に接すると、火花が散りますのでご注意ください。研削作業中にディスクと作業面の角度を常に正しく（15°）保ってください。これによってディスクの研削能力を最大に発揮し、ツールに不必要な負担をかけることを防ぐことができます。 〈図-18〉

〈図-18〉



- ・新しいディスクは、後方に引いて使用してください。前方に押しますと加工材に食い込むことがあります。ディスクの角がとれましたら、どちらの方向にも進めることができます。

5 性能を維持するために

ホコリや油等が製品の表面に付着した場合、布やブラシ（金属以外のもの）等から拭き／ブラッシングしてください。水、薬品は掃除の際、絶対に使用しないでください。

⚠ 警告

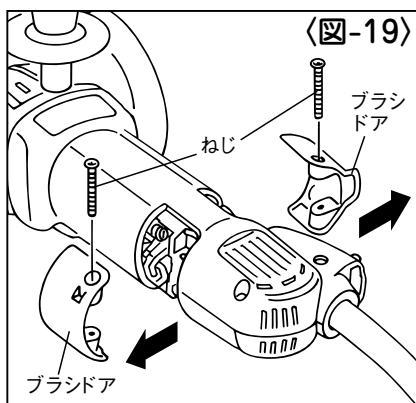
- 製品の掃除を開始する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

◆カーボンブラシの交換方法

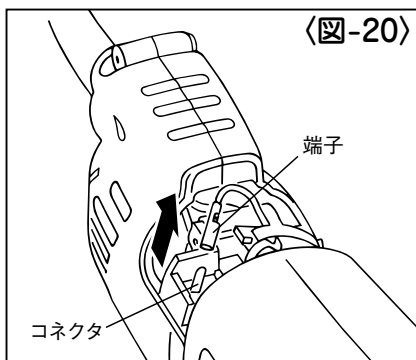
⚠ 注意

- 調整・アタッチメントやアクセサリーの着脱を行う時は、その前に必ず起動/停止スイッチを切り、電源コードを電源コンセントから抜く。
- 電源に接続する前に、確認の為、起動/停止スイッチを押して、スイッチのホールドが解除されている事を確認する。
- 本機用マックス純正カーボンブラシを使用する。（本機用マックス純正カーボンブラシは、お買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー(株)にてお求めください。）
- 本機用でないものやマックス純正でないカーボンブラシを使うと、本機本来の性能を発揮しないばかりでなく、本機の損傷に繋がる事が想定され、また思わぬ事故に繋がります。

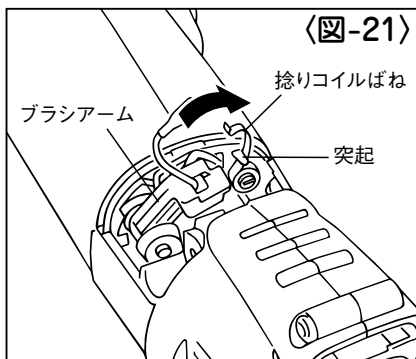
- ①固定している2本のねじをプラスドライバー（No.2）で緩めてブラシドアを取り外します。
〈図-19〉



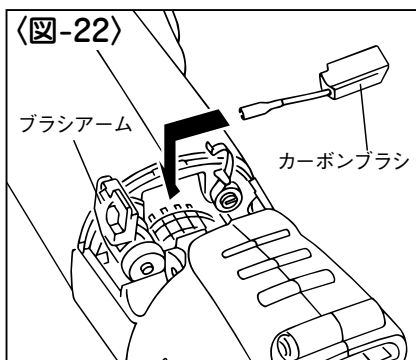
- ② ブラシの端子を先の平らなもので押し上げて抜き、コネクタから外します。 〈図-20〉



- ③ ブラシアームを固定している捻りコイルばねを引っ張り、ハウジングの突起に置いてください。これでブラシアームがフリーになります。 〈図-21〉



- ④ 古いカーボンブラシを新しいものに交換してください。
⑤ 交換が済んだら、上記3番から逆の手順で組み付けてください。 〈図-22〉



⚠ 注意

- ねじでブラシドアを固定する前に、ブラシドアが正しい位置にフィットしているか確認してください。
- 電源コンセントに電源プラグを接続する前に、全てのねじが、正しく締められているか確認してください。

6 保証、アフターサービスについて

【保証について】

- 本機には保証書がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。

【アフターサービスについて】

- 本機の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行なわなければなりません。必ずお買い求めの販売店またはマックスサービスファクトリー(株)までご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。



マックス株式会社

本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8121(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761(代)
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市築瀬町2313	TEL(028)636-3012(代)
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町233-5	TEL(027)210-7755(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297-12	TEL(04)7132-1500(代)
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
静岡営業所	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
浜松営業所	〒433-8117	浜松市中区高丘東2-22-15	TEL(053)439-3300(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2035(代)
京滋営業所	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6-2-4	TEL(078)367-1580(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347(代)

販売関係会社

新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1873(代)
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(076)452-0182(代)
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2-1-35	TEL(089)913-0608(代)

マックスサービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
名古屋サービスステーション	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-228-358
月～金曜日 午前9時～午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。